

「愛国心と歴史」—教科書を墨で塗潰した世代から—

南出健一

小学生に「国を愛する心」を教えるのに、どのような「切り口」があるのか考えたことがありますか。この間、友人の一人が3年生の孫を連れ九州を旅しました。湯布院の宿で寛いでいる時、ふと「そうだ！明日は孫を知覧に連れて行こう」と思い立ったそうです。彼には「1945年2月、知覧から硫黄島に飛立った学徒出陣の叔父」がいたのです。ですから「9歳だった軍国少年」が62年後、「9歳の孫」と連立ち彼の鎮魂の地を訪れようとしてきました。

「知覧特攻平和会館」で話し聞かせようとしても孫の目は「ゼロ式戦闘機」に釘付けになっていました。やがて、彼は展示ケースの片隅で叔父の「遺書」を発見することになります。記録が残されているとおぼろげながら耳にしても、墨が薄くなった遺書を見やった瞬間、角帽姿の叔父が走馬灯のように蘇ってきたのです。こみ上げる気持の高ぶりは抑え難かったのでしょう。あふれ出る涙に書き出しの「お父上、お母上、今日まで慈しみ育てていただき…」までがやっとならぬと、あとはただ嗚咽するしかなかったといいます。キョトンした孫は彼の顔を覗き込むように「じいじい、どうして泣くの？」と聞いたそうです。「じいじいの叔父さんが手紙を残して特攻機で戦死したんだよ」といっても「なんで飛行機に乗って死なないとダメだったの？」を繰り返すばかりでした。

彼は帰りの車中、スヤスヤと寝息を立て始めた孫の横顔に「9歳の子供」でもわかるように「戦争のむごさと命の尊さ」を話してやることにしたのです。

もう一つ語り継がねばと思ったのは—教科書を墨で塗らされた—ことでした。昨日まで押し載っていた「国定教科書」を年端も行かない子供の手で塗り潰させた事実です。僕たち世代にはこのことを「日本現代史」の1ページに「消させてはならない歴史」として永遠に書留めさせる強い思いがあります。

さて、これから62年前のわずかな残り香になった「記憶の糸」を手繰って見たいと思います。いまもハッキリ覚えているのは疎開先の寺の薄暗い庫裏で畳に蠢いている「蚤」に苛めながら「もんぺ姿の若い女の先生」が教科書片手に目に涙を浮かべ「ハイ、ここを消して」という指先の行数を追いかけたことでした。しかし「なぜ、消すのか」は一言も教えてくれなかったのです。

国語も修身の教科書も半分以上真っ黒に塗り潰されてしまいました。これから先、どこを勉強すればいいのか9歳の子供にとって戸惑うばかりでした。それは9月の残暑きびしい越中平野のど真ん中、富山県西礪波郡水島村「証満寺」での出来事です。

そのとき、僕らはまだ「やせ扱けた軍国少年」でした。

1945年11月の終わりだったと思います。北陸線経由信越線の貨物列車に押し込まれて一面焼け野原の上野駅に着いたのは夕刻だったと記憶しています。「東京」に帰ってきた喜びは今も忘れることはできません。集団疎開のわが子を迎えに来た母親たちでプラットフォームはごった返してしていました。

新しい年度を迎えて(07.04)

芝 忠

早いもので、異グ連も1984年に設立されて以来23年目に入りました。10周年、15周年、20周年があつと言う間に過ぎ去った感じすらいたします。

近年は「異業種交流」というより、新連携や産学連携、地域連携という方が馴染みがあるようですが、4月2日付けの日刊工業新聞に、住友商事会長の宮原賢次氏(日本経団連副会長)が面白いことを書いています。21世紀初頭の時代に、企業が変化に対応する方向として4つ挙げています。

第一はヒトの知恵を発揮させること、第二はハードとソフトの分かる企業、第四はスピードを挙げ、第三番目に異業種交流を挙げています。「産業の隙間を埋めたり、異なる産業を融合させたりすることで新たな産業を創出する機能をもった企業」「産学連携、文民融合、異業種交流などは、いずれも異なる分野・領域を融合し、積極的に外部の異質な力を取り入れることによって一段と大きな価値を生み出すための取り組みであり、そのような取り組みが出来る企業と、取り組みを提供していくことのできる企業が求められている」と指摘し、さらに「企業がバリューアップするうえでヒトが中心的な役割を担っており、グローバルベースでハードもソフトも取り扱え、異業種を統合させることができる、しかも迅速さをもちつつ、人様から信頼される企業が今求められていると言える」。そして「一番大事なヒトを大切にするという遺伝子を有している日本の産業の将来は明るい」と結んでいます。

異業種交流において人間の果たす役割は非常に大きなものがあります。改めてヒトをいかに経営手法が異業種交流だと言いたいですね。

次頁へ続く

僕たち100名は迎えの親たちを見つけようと教師の整列の号令も聞こえませんでした。一昼夜の車中で口にしたのは「雑穀の握り飯」と水筒の水だけです。飢えと渇きで母親から差し出された食べ物にむしゃぶりついたのを昨日のように思い出されます。しかし、どうしても忘れられないのは栄養失調の我が子を頬擦りする母親の脇で、誰か出迎えに来ないか憔悴しきった顔つきで、たずんでいた数人の仲間たちのことです。とうとう彼らには迎えは来ませんでした。

仲良かったA君もEちゃんも上野駅で「**戦災孤児**」になったのです。

「平和ボケからは愛国心は生まれぬ」とは「憂国の志士気取り」の「たわごと」です。彼らは教科書を墨で塗り潰したことも仲間が孤児になったことも知らないのです。ひとたび国家が間違った方向に舵を切ってしまうと、あつてはならない悲劇を引き起こした事実を正面から捉えられないからです。日本は元気がなくなって以降、そのコンプレックスなのか「妙なナショナリズム」が幅を利かせるようになってきました。際立つのは歴史を客観的に見ようとしぬ輩が声高に「戦後レジームの清算」とか言い出してきたことです。彼らは「国歌」や「国旗」を強制させたり教育制度を弄り回して「愛国心」が醸成されると思込んでいるとすれば浅はかのそしりは免れません。

健全な愛国心とは日常の中から「自然発生的」に醸成してくるものです。大半の人々は「愛国心」を殊更意識しなくても頭のどこかに内在しているものです。

それより「喉もと過ぎれば暑さを忘れる」政界の「懲りない面々」、世にも不思議な「議員宿舎の怪」を口先三寸で言い逃れ出来るとでも思っているのですか。この手合いには「国を愛する心」など微塵もないことだけは確かです。
(2007.03.30 記)

新しい年度を迎えて(続き)

さて新年度は、中小企業の**人材確保問題**を取り上げたいと思います。今、中小企業においては新規卒者の採用が非常に困難になりつつあります。バブルの再来とも言われていいます。そこで中小企業の人材確保対策を支援するプロジェクトを発足させます。かつて異グ連では「県立高校進路指導協議会」や、県内私立大学「10大学就職部長会議」、さらに大手企業10業種(日産・東芝・旭化成・日本鋼管・コマツ・味の素等)の第二人事課(外部への就職あっせん部署)との交流の経験があり、最近行われた横浜国大とのインターンシップセミナーも大いに参考にしつつ、新しい人材確保対策事業を推進したいと考えています。

次に「**中小企業振興条例**」づくり運動です。筆者が神奈川新聞処方箋欄に昨年12月18日付と本年2月26日付で条例のことを書きましたが、県知事選挙で松沢候補が「中小企業活性化条例」を制定すると約束しました。本件は庁内では必ずしも評価は高くなかったようですが、中小企業向けの新たな施策を強化せよ、という筆者の主張は他の候補者も掲げています。多分地方選挙の後半戦でも同様なテーマが取り上げられるでしょう。異グ連では3月7日の理事会で、運動推進の方向が承認されたので、いよいよ動きだします。中小企業政策研究会と一緒に進めます。進め方としては、条例の理念的な側面と、具体的な実利に繋がる施策・予算づくりと一体で進めること、また中小企業関連団体に幅広く呼びかけて進めることに留意したいと思います。さらにそんなに慌てないで、2年位の期間を掛けて、全県的な広がりで行いたいと考えています。了

産学官交流サロンのコーナー

第7回西湘サロンの報告

吉池正樹 BC

開設1周年を迎え、今回(3月12日)の話題は、特別2本立てでした。

- 1、「**県産木材を使った医療用おもちゃが小児医療を変える**」で、最近の子供医療の話題を、堀内ウッドクラフト社長 堀内良一氏に語っていただきました。

かつて子供の治療と言えば、押さえつけたり、鎮痛剤を使っていたことが多かったが、最近では子供に病気や治療内容を説明し、子供なりに納得させたり(小児版インフォームドコンセント)、治療を受ける心の準備(プレパレーション)をさせて、治療を受ける意欲を引き出す努力をしている病院が多いという。子供に説明するとき、当社が作った医療用木製玩具が使われている。

最初、県立こどもセンターの看護師に依頼されて作ったが、その後学会で発表されて評判が高く、いまでは、大学病院、こども病院など100以上の施設に納入しているという。

- 2、「**食育基本法制定の背景にあるもの**」で小田原女子短期大学 惣田智子教授に食育をめぐる動向について興味あるお話しをしていただきました。

「食育」とは食に関する経験や知識を通じ「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践できる人間を育てることで、最近の食生活の乱れが、生活習慣病の増加や、家族関係の乱れにも通じているという。

食育には子供たちに農林漁業に接する機会を多くすることも効果があるが、小田原地域は生産地と消費地が隣接しているメリットがあり、食育に良いという。また、子供と一緒に食事作りすることも効果があるという。

<p>第8回 西湘サロンの開催案内</p> <p>日時: H19年05月14日(月) 18:00~20:00 場所: あいおい損保小田原支社3F会議室 話題提供: 「商標とは! 知ろう、取ろう、儲けよう!」 神奈川中小企業センター知財コーディネーター森啓次氏 参加費: 1000円 問合せ: 芝、島津俊之、吉池 045-633-5142</p>	<p>おなじみ尾上町サロン</p> <p>日時: 毎月第一・三金曜日(4月06日、20日、5月18日) 5月4日はお休み! 場所: 神奈川中小企業センター5F 産業交流プラザ 連絡問合せ: 芝、八幡、島津龍男、鈴木</p>
<p>「サロンよこはま」のH19年度・年間計画 池谷BC</p> <p>今年も産学官民の異業種交流の核として、人と人の交流の拡大を図ります。皆様のご協力ご参加を期待します。</p> <p>日程: 原則奇数月の第4木曜日18:00~20:00(5月のみ23日(水)です) 場所: 横浜市中区元浜町3-21-2 ヘリオス関内ビル2F ISO(インテリジェントスモールオフィス)会議室 他 仮テーマ一覧(まちづくり関連を多く取り上げたいと思っています)</p> <p>05月23日(水): あるベンチャー企業の奮闘記 11月22日(木): 酒をテーマに(?) 07月26日(木): 湘南信金の中小企業への対応 01月24日(木): まちづくりへの大学のアプローチ 09月27日(木): 横浜市の防災対策とまちづくり 03月27日(木): 2009年観光、誘致(コンベンションビューローの活躍)</p>	

<p>かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況</p>	
<p style="text-align: center;">まんてんプロジェクト最近の話題 千田BC</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3月14日ホテルニューオータニにて(財)広域関東圏経済活性化センターの主催によるシンポジウム「宇宙機器産業の次期をよむ」が開催され、まんてんメンバーが出席した。これは、関東経済産業局が同財団に委託して18年度調査プロジェクトとして実施した広域関東圏の中小企業の航空宇宙に対する取り組み調査(中須賀委員会)の中間報告を兼ねて開催したもので、同委員会にはまんてんから芝、山内両氏が参加している。来賓のJAXA、経済産業省から今後の中小企業の果たす役割について強い期待と、国やJAXAの支援の計画や必要性が述べられるなどこれまでにない活気のある会合であった。 ● 早稲田大学とまんてんの連携による航空分野でのプロジェクトの検討が進んでいる。宇宙分野は昨年9月にスタートしたが、航空機分野での産学連携プロジェクトの立ち上げを行うべく議論を進めており、3月には早稲田大学及びJAXAから先端的な研究開発に関するプレゼンテーションが行われた。 ● 東京都が19年度からスタートする航空機分野の産業支援の政策検討の初会合が3月29日に行われた。まんてんを代表して千田が、まんてんの紹介及び中小企業が航空宇宙に参入するに当たりどのような外部支援を必要としているかを紹介した。東京都は昨年12月に長期政策ビジョン「10年後の東京」を発表しておりその中で、航空関連産業を東京の地場産業として育成することを表明している。4月以降委員会が発足し東京都の政策実行を側面支援する。 ● 18年度JASPAが関東経済産業局から助成金を受けて実施した「まんてんEDIプロジェクト」は全て終了し研究報告書を提出した。来年度のシステム実現に向けて検討を進めている。これに関し、かねてより中小製造業のEDI利用推進を行っている経産省傘下のCOXECIに4月からJASPAがメンバーとして参加する。 ● 関東学院大学から異グ連が受託した航空宇宙産業に係る中小企業の取り組みに関する調査(航空宇宙産業研究会)は全て終了し、報告書をまとめている。 	
<p style="text-align: center;">第72回日韓ビジネス協議会定例会(3月22日)の報告 高橋導徳BC</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 韓国企業紹介: (株)イーオーテクニクス/レーザー応用機器(レーザーマーカ―など)・課長 李炳奎氏 設立は1989年で、レーザーを使って電子部品のマーカ―(印刷)、クリーニング、穴あけ、トリミング、ウエルディングなどの機器を製作している。韓国内のシェアは90%、海外比率は40%程度である。 韓国では三星電子に実績多く、日本でもローム、東芝、などに納入されている。 ● 新技術紹介: 「原子の結合による超高硬合金と鋼の接合」・(有)ホンダマシン 代表取締役 本田武士氏 超硬圧接でリサイクルが可能である。自動車部品、切削工具、掘削工具、金型部品のエジェクターピンやパンチ等に用途がある。圧接は先端部分のみで、省資源・省エネに貢献できる。 ● 2007Well Beauty Korea 商談会の報告(札幌)・韓国中小企業振興公団・日本事務所 所長 梁海震氏 化粧品、入浴雑貨、歯ブラシ、歯磨きチューブ、など中心にした商談会が札幌・幕張で2月、3月に開催された。この様な製品の商談会ははじめてであり、特に北海道でははじめての開催であった。 ● メイン講師: 「日本の異業種交流支援策の変化と我々の対応」・神奈川異グ連 理事 芝 忠氏 最近の国の政策に伴う6事業の紹介。新プロジェクトとして中小企業の人材確保策、中小企業振興条例づくり推進委員会、中国貿易の再検討などの広範囲に亘って最近の変化と対応について講演された。 	

第73回日韓ビジネス協議会(総会)の開催案内

高橋 BC

場所: 神奈川中小企業センタービル5階 会議室

日時: **4月26日(木)16:30~17:15総会** 17:30~19:30懇親会(「だんまや水産」)

議題: 第1号議案: 2005年度活動報告(事務局) 第2号議案: 2005年度会計報告

会計監査報告 第3号議案: 2006年度会則改正及び役員 第4号議案: 2006年度活動方針

会費: 総会(1,000円)、懇親会(2,000円)

お申込、問合せ: 事務局 高橋導徳 045-311-0094MAIL: mtakahas@tb3.so-net.ne.jp**シフト21**

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に、原則第二火曜日に定例会を開催しております。

4月定例会は4月10日キャノン(株)取手工場を見学し、セル生産方式、チーム改善活動、社員活性化制度の実施体制などを学んでまいりました。

5月定例会は5月8日「旅行業界の現状と新しい旅のかたち～団塊世代に向けて(仮)」と題して、オーダーメイドの旅行会社(有)旅人(たびゅーと) 大西広朗氏にお話をいただきます。

シフト21ではゲストの皆様の参加を歓迎しております(初回参加は無料)。お問合せは有村までお願いいたします。

(hda00467@nifty.com)

C&Sグループ総会が開催された

1、C&Sグループは今後も、中小企業、異業種グループの発展並びに異業種交流活動の活性化に寄与することを目的に活動する事が確認された。

2、H19年度の重点事業として「神奈川中小企業センター及びかながわ異グ連へのより一層の協力」を盛り込み、こんご早急に理事会、例会で具体化することとなった。

3、新役員(3役)

会長: 村上嘉男氏

副会長: 小林巽氏(イベント)、松井利夫氏(ビジネス)、魚崎誠也氏(編集担当)

事務局長: 吉池正樹氏 (湯河原にて取材・小野川)

関連イベントのお知らせ!!**H19年度(財)神奈川中小企業センター「交流支援」関連事業の紹介**

4/9ABC会議で取材・小野川

1、**かながわコンソーシアム事業**(新規成長産業事業化促進): 神奈川県が特定する新規成長産業9分野の事業化を企業、大学、研究機関などとの連携により推進していく事業です。

支援内容: 産学公連携のマッチング、事業化促進委託費(3テーマ)、連携体構築、見学会、展示会出展 等

募集: 4月18日~5月11日 書面審査・ヒヤリング・選考会を経て、発足会を6月開催の予定

2、**新連携等コーディネート事業**(新連携等事業活動の促進、企業間連携コーディネートの実施): 中小企業新事業活動促進法の新連携計画認定を目指す中小企業者を支援します。

募集: 随時受け付け

3、**産学交流サロンの開催**: 産学連携や事業化を促進します。(神奈川県異業種グループ連絡会議に委託)

4、**知的財産戦略策定の支援**: 専門家を企業へ派遣し、知的財産戦略策定等の支援を行う。

県内の知的所有権センター4機関と連携し、専門家(中小企業診断士、弁理士、弁護士、知財実務者など)で構成する支援チームを結成し支援する。

5、**中小企業技術革新制度の活用促進**: SBIR制度情報の提供と申請支援を行う。(神奈川県技術士会に委託)

講演会「ベトナムの産業発展のためのODAとベトナム製造業の現状と課題」

池谷BC

講師: 元ベトナム駐在 JICA/JETRO 専門家 小谷泰三氏

日時: **5月9日水曜日18:30~20:30**

場所: 神奈川県民センター301号室

参加費: 2,000円

問合せ・申込み: 090-4125-2677

ベトナムビジネス研究会・本吉

先端技術見本市テクトランスファーinかわさき2007

企業製品のPR、販路拡大、商取引の促進を目的とする。

日時: **H19年7月11日(水)~13日(金) 3日間**

場所: かながわサイエンスパーク(KSP)

部門: HW/SW、技術要素、産業機器、環境関連機器等

出展料: 1小間(2mx2m)63,000円

問合せ: (社)神奈川県産業貿易振興協会・テクトランスファーinかわさき事務局 045-671-7058

H19年度異グ連事務所キーパー(2名体制) 4/9 スタッフ会議にて

月曜日: 村上嘉男、島津龍男

木曜日: 八幡敬和、松井利夫

火曜日: 児玉英二、八幡敬和

金曜日: 島津龍男、芝 忠

水曜日: 杉本明子、芝 忠

TEL 045-633-5142

重要な予告 神奈川異グ連総会開催予定日時: **6月21日(木)14:00~16:30****17:15~懇親交流会**場所: **神奈川中小企業センター**皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。

神奈川異グ連への連絡問合せは、事務局当番者 tel, 045-633-5142 fax, 045-633-5194 芝、八幡、島津(龍)、杉本へ